

当社の採用活動取材して頂きました！

ニュースBOX

オンライン活用 手探り選考

県内企業の来春採用 対面方式も再開動き

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、来年度の新卒採用を計画する県内企業が試行錯誤しながら選考活動を進めている。選考スケジュールの見直しに加え、説明会や選考にオンラインを導入する動きが加速。緊急事態宣言が全面解除され対面での選考を再開する動きも出始めたが、前例のない環境下では各企業の採用活動の動きは手探り状態だ。

エネルギー事業のエネシン（松本市中区）は月々、県内に在勤者推進中の給与（静岡学生を中心に）対面での選考や会社説明を再開する。4月上旬に幹部に緊急事態宣言が発令された以降、動画配信やWEB面接に移していたが、内定につながらず最終選考は対面での実施を重視。インターンシップ（就業体験）などを終了早期に面談を終えた学生以外は内定が出せない状況が続いていた。

■ 安堵と不安

「例年は（次年度の新卒採用が）一斉している時期。慎重を期しながら再開したが、ようやく先に進める」と話すのは採用担当の営業企画部の北井佐さん。安堵（あんこ）の表情を見せる一方、例年6月から始動する再来年度の採用を加速させたインターンシップ開催には懸念を込めている。同社は「先行き不透明な状況だから、22年新卒採用は例年以上に早期化を進むのでは」と見通し、7月までのインターンシップのオンライン実施に準備を進めている。

■ 多様な人材を

政府や経団連が就活の不安緩和に向けて選考日程の柔軟対応を企業に呼び掛けている。進歩的な採用活動の程度広がることも目ぼかれている。東海、中部地区エリアスパーを開発するマックスパルユ（東海）は、海外への留学経験者や内定取り消しを受けた人に対応した自社の採用活動に着手する。21年新卒採用を含めてオンライン選考を採用し、多様な人材確保を目指す。



（経済部・石井佑子）

コロナ禍で来年度の新卒採用を計画する企業が試行錯誤しながら選考活動を進めている中、当社の採用活動について取材して頂きました。当社では緊急事態宣言の発令以降、オンラインを活用しながら学生たちとの面談を実施。今後のインターンシップもオンラインでの実施を検討しております。今後とも細心の注意を払いながら、学生が安全に就職活動ができる環境を作っていく、地域のお客様へより良いサービスを届けるためにも、新たな人材確保に努めてまいります。

令和2年(2020年)5月26日(火)

静岡新聞掲載